

一般社団法人国際海洋資源エネルギー利活用推進コンソーシアム

## 第二期（平成 28 年度） 定時総会

### 議 事 資 料

日時： 平成 29 年 9 月 26 日(火) 午後 16 時～  
会場： 沖縄県久米島町 町役場仲里庁舎 2 階会議室

議事：

第 1 号議案 【報告】平成 28 年度事業報告

第 2 号議案 【報告】平成 28 年度決算報告

第 3 号議案 【審議】平成 29 年度事業計画(案)

第 4 号議案 【審議】平成 29 年度予算計画(案)

## **第1号議案 【報告】平成28年度事業報告** (平成28年8月1日～平成29年7月31日)

### **1. 概況**

平成26年7月の設立以来、任意団体として活動して参りました本コンソーシアムは、更なる取り組み強化のため、平成28年3月31日付けで一般社団法人格を取得しました。この一般社団法人格取得を契機として、各事業の推進を通して海洋深層水の利活用推進の発展と「久米島モデル」の実現に向けて、一層の取り組みを進めてきました。

一般社団法人化後の第一期となる昨年度に引き続き、本コンソーシアムの「活動方針」に基づき、海洋資源・エネルギーの利活用推進と「久米島モデル」の実現につながる受託事業等を4件受託し、現在その実施を進めています。

また今年度、沖縄県海洋深層水研究所に来場した人数は1,893名と、昨年、一昨年よりも多くの来場者を迎えており、本コンソーシアムの活動の注目度はますます高まっています。平成28年度の活動としては、引き続き、掲示ポスターの更新や取材対応等を行い、現地視察・見学の充実化、広報・対外発信の継続強化を図りました。

### **2. 会員の状況**

#### ・正会員

法人会員：24団体（関係者：のべ96名）

個人会員：8名

#### ・賛助会員：17団体71名

#### ・メーリングリスト会員：263名（正会員、賛助会員含む）

※平成29年7月末現在

### **3. 発表・寄稿等**

- ① 【発表】 Techno-Ocean2016, 「Status of the “Kumejima Model” for Advanced Deep Seawater Utilization」 (平成28年10月)
- ② 【出展】 那覇産業まつり 第40回記念特別展「海洋産業特別展」(平成28年10月)
- ③ 【発表】 2016 台湾深層海水資源利用学会大会, 「Status of the “Kumejima Model” for Advanced Deep Seawater Utilization」 (平成28年11月)
- ④ 【寄稿】 海洋深層水利用学会ニューズレター 第19巻3号、「久米島海洋深層水／沖縄－ハワイ関連イベント報告」(平成29年3月)

#### 4. 委託・補助事業の実施

次の事業委託または補助を受けて実施しました。

No.	事業名	委託元・補助元	期間	内容	参考資料
1	平成 28 年度 沖縄県「沖縄ハワイクリーンエネルギー協力推進事業」(委託事業)のうち、「海洋エネルギーワークショップの開催」部分の再委託	(一財)南西地域産業活性化センター(NIAC)	H28.7～ H29.3	2011 年 6 月に、経済産業省、米国エネルギー省、沖縄県、ハワイ州の 4 者で締結された沖縄ハワイクリーンエネルギー協力協定の下に行われてきた「海洋エネルギーワークショップ」(第 7 回：H28 年 10 月開催 於 久米島)の開催事務および関連委員会、分科会支援等付帯業務	—
2	平成 29 年度 同上事業	同上	H29.4～ H30.3	同上 海洋エネルギーワークショップ(第 8 回：H29 年 6 月開催 於 コナ)の開催事務および各種付帯業務	①
3	平成 28 年度 沖縄県「海洋温度差発電における発電後海水の高度複合利用実証事業」(委託事業) ※(株)ゼネシス、(株)ジーオー・ファームとの共同受託)	沖縄県(商工労働部)	H28.7～ H29.3	現在利用していない沖縄県 OTEC 実証設備使用後の海水を海ぶどう養殖施設および牡蠣養殖施設に導いて利用することにより、多段利用の効果を実証する事業。 本コンソーシアムは、検討委員会の運営、見学対応等を担当。	—
4	平成 29 年度 同上事業	同上	H29.4～ H30.3	同上	②
5	平成 28 年度「久米島モデル」基本計画情報更新作業(委託事業)	久米島町	H28.10～ H29.3	2011 年に基本計画を行った「久米島モデル」に、最新動向を反映して見直しを実施	—
6	万国津梁産業人材育成事業 Bird Challenge	(公財)沖縄県産業振興公社	H28.10～ H29.3	海外を対象とした事業展開を支援する Bird Challenge の「海外展開の専門家招へい」プログラムを利用し、ハワイから 3 名の専門家を招へい。	③

## 5. 関連プロジェクトに関する議員視察

(役職は来島時点)

日付	視察者	内容
H28.12.18	石橋 みちひろ 参院議員	海洋深層水関連施設の視察
H28.5.1	鶴保 庸介 内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策)	久米島の海洋深層水および教育への取り組みに関する視察
H28.7.15	山本 幸三 内閣府特命担当大臣(地方創生担当) 國場幸之助 衆院議員	久米島産業視察の一環

## 6. 関連報道等（今年度）

テレビ			
日付	局	番組名	コーナー名、トピック名
H28.11.14	NHK 総合	ひるブラ	「スゴいぞ！海洋深層水パワー～沖縄・久米島～」
H29.2.10	サガテレビ		佐賀大 海洋温度差発電の普及目指し協定

インターネット動画			
日付	局	番組名	コーナー名、トピック名
H28.8	産学官連携ジャーナル 2016年8月号	特集1- イノベーション機能の強化へ 共同利用・共同研究拠点の在り方	世界に先駆けて沖縄・久米島で海洋温度差発電の実証を開始 - 再生可能エネルギーにおける安定的電源の役割を目指して -

新聞・インターネットニュース			
日付	メディア	面	タイトル
H28.8.30	琉球新報	朝刊 5 頁	技術連携でメリットを／JICA 沖縄と島嶼国、意見交換
H28.9.17	琉球新報	経済 4 面	海洋温度差 基礎電源に 再エネの循環社会提言
H28.9.17	沖縄タイムス	経済 1 面	深層水で産業活性／「久米島モデル」目指す／事例報告に関心
H28.9.17	沖縄タイムス	経済 2 面	自然の恵み 可能性／沖縄・ハワイ 海洋エネルギーシンポ
H28.9.18	沖縄タイムス	経済 2 面	海の力 活用法探る／久米島 国際シンポ閉幕／エネルギー研究例報告
H28.9.27	日本経済新聞	地方経済面 九州 13 頁	久米島の海洋温度差発電、商用化へ出力倍増、佐賀大・神戸製鋼・沖縄県など、高効率の熱交換器導入
H28.9.27	沖縄タイムス	朝刊 9 頁	40 回記念「海洋資源」テーマ／来月 21 日から産業まつり／友寄氏の作品 ポスターに
H28.9.28	日経産業新聞	13 頁	久米島の海洋温度差発電、出力倍増、効率 1 割高める、来月実験、熱交換器を改良。
H28.10.7	琉球新報		<南風>「海洋産業特別展」が示す先進性
H28.10.22	沖縄タイムス	朝刊 9 頁	県産発展 創意の 40 年／産業まつり開幕
H28.10.25	日経産業新聞	20 頁	海洋温度差発電、リード揺らぐ(眼光紙背)
H28.10.26	ililani media		Governor Ige to visit Ocean Thermal Energy Conversion (OTEC) facility
H28.10.29	琉球新報	朝刊 4 頁	<第 6 回世界のウチナーンチュ大会 10 月 26 日～30 日>浦添で環境シンポ／先進地モデル発信へ 自然エネで知 結集
H28.10.29	沖縄タイムス	経済 9 面	再生エネ 沖縄から発信
H28.11.4	沖縄タイムス	朝刊	[第 6 回 世界のウチナーンチュ大会]／久米島ンチュ世界に広がる絆／島内外の情報共有を イゲ知事 温度差発電を視察 ハワイ州議員ら 14 人

新聞・インターネットニュース			
日付	メディア	面	タイトル
H28.11.5	Star Advertiser		Ige wants to cash in on ocean energy
H28.11.6	東京読売新聞	朝刊 20 頁	[知の拠点セミナー] 「新しいステージに向かう海洋エネルギーへの挑戦」ほか
H28.11.7	沖縄タイムス	朝刊 25 頁	県内の観光協会 連携強化目指す／久米島で会議
H28.12.7	日刊工業新聞	27 頁	低炭素島しょ社会に
H29.1.29	沖縄タイムス ワラビー		[ワラニュー！ニュースが知りたい]／再生エネルギー 進む研究
H29.2.8	秋田魁新報	朝刊 4 頁	沖縄で実証実験 海洋温度差発電、利点や課題紹介 エネルギー懇講演会
H29.2.9	沖縄タイムス	朝刊 24 頁	佐賀の子とテレビで交流／美崎小 6 年生 久米島とネット中継
H29.2.27	読売新聞	YOMIURI ONLINE	次代照らす海の花
H29.3.26	琉球新報	朝刊	久米島の魅力探る／「ふるさとづくり」意見交換 河井克行首相補佐官とふるさとづくり実践活動チームメンバーが海洋温度差発電施設等を視察
H29.4.27	沖縄タイムス	朝刊	教育や運賃 島の課題／久米島 鶴保大臣へ町民訴え 海洋温度差発電実証設備、海ぶどう養殖場も視察
H29.4.30	日経新聞	サイエンス 30 面	沖縄再エネの先進地 海洋温度差発電や台風で発電
H29.4.30	琉球新報	朝刊	久米島高の取り組み視察／鶴保沖縄相が初訪問
H29.5.10	日経産業新聞	8 頁	離島にみる人口減対策 先端技術、地域再生のカギ
H29.5.11	Tidal Energy Today		OTEC plant comes closer to Cayman Islands
H29.6.19	tidalenergytoday.com		Global map of OTEC plants comes to light
H29.6.29	tidalenergytoday.com		Bardot Group opens OTEC systems simulation lab

冊子、本等			
日付	メディア	面	タイトル
H28.11.28	日経ビジネス	記者の眼	「海水」で生まれ変わった沖縄・久米島
H29.3.27	プレシオ編集部 (株)DAYS	Precio	「THE SCIENCE —科学への誘い—」
H29.5 月号	総務省	地方のかがやき	深層の海水を多段階で利用する久米島モデルの確立に向けて
H29.5.15	(株)海風舎	島へ。	「水」を活用する海洋深層水産業

以上

第2号議案 【報告】平成28年度決算報告  
(平成28年8月1日～平成29年7月31日)

# 決 算 報 告 書

第 2 期

自 平成 28 年 8 月 1 日

至 平成 29 年 7 月 31 日

一般社団法人 国際海洋資源エネルギー利活用推進コンソーシアム

沖縄県島尻郡久米島町比嘉2870番地





## 貸借対照表

平成29年7月31日 現在

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【流動資産】	[ 1,988,731 ]	【流動負債】	[ 1,935,705 ]
現金・預金	388,640	未払費用	185,705
未収入金	1,349,892	前受金	1,750,000
立替金	4,344		
前払費用	245,855		
		負債合計	1,935,705
		純資産の部	
		【純資産の部】	[ 53,026 ]
		基金	0
		剰余金	53,026
		純資産合計	53,026
資産合計	1,988,731	負債・純資産合計	1,988,731

平成 28 年度 会計監査報告

平成 29 年 9 月 22 日に、一般社団法人国際海洋資源エネルギー利活用推進コンソーシアムの平成 28 年度分会計監査をしたところ、会計帳簿、証拠書類、預金通帳いずれも適切に処理されていたことを認めます。

平成 29 年 9 月 22 日

監事 嘉手苺



### 第3号議案 【審議】平成29年度事業計画(案)

基本方針：本コンソーシアム設立時の主目的である「久米島モデル」実現を目指し、これにつながる活動に注力します。

#### 1. 受託・補助事業の実施

現在受託・実施中の事業（下記2件）を継続するとともに、平成30年4月以降は、それらの後継事業を実施するとともに、必要に応じて新規委託・補助事業を探索・実施します。

No.	事業名	委託元
1	平成29年度 沖縄県「沖縄ハイクリーンエネルギー協力推進事業」（委託事業）のうち、「海洋エネルギーワークショップの開催」部分の再委託	(一財)南西地域産業活性化センター(NIAC)
2	平成29年度 沖縄県「海洋温度差発電における発電後海水の高度複合利用実証事業」（委託事業） ※(株)ゼネシス、(株)ジーオー・ファームとの共同受託	沖縄県（商工労働部）

#### 2. 今後に向けた活動

- 久米島モデル実現の第一ステップとして、事業実施に向けた調査を行うべく、提案活動を行います。（昨年度から継続事項）
- 海洋エネルギーを核とした、久米島のエネルギー自給100%化実現に向けた各種の活動を行います（例として、久米島の特色を生かした小中学校向けのエネルギー教育の提案の具体化や、住民有志によるエネルギー勉強会の開催（本年8月4日に第一回を開催。今後2ヶ月毎に開催予定））。

#### 3. その他

教育とのコラボレーション強化の他、現地視察・見学の充実化、広報・対外発信の継続強化を行います。（昨年度から継続事項）

以上

## 第4号議案 【審議】平成29年度予算計画（案）

### 収入

経常収益	昨年度実績	今年度予算	摘要
事業収益			
会費収入	242,000	242,000	
受託収入	15,821,735	11,842,000	
沖縄ハワイ海洋エネWS H29年度	-	4,680,000	受託事業 H29.4～H30.3のうち8ヶ月分
沖縄ハワイ海洋エネWS H30年度	-	2,340,000	受託事業(見込) H29.4～H30.3のうち4ヶ月分
OTEC発電後海水利用 H29年度	-	2,700,000	受託事業 H29.4～H30.3のうち8ヶ月分
OTEC発電後海水利用 H30年度	-	1,350,000	受託事業(見込) H29.4～H30.3のうち4ヶ月分
万国津梁人材育成事業 H29年度	-	772,000	補助事業 H29.9月完了のためすべて本年度に算入
財務収益			
受取利息	11	-	
経常収益計	16,063,746	12,084,000	

### 支出

経常費用	昨年度実績	今年度予算	摘要
事業費用			
給与手当	4,948,183	3,554,000	
法定福利費	232,179	184,000	
旅費交通費	4,594,739	5,091,000	
通信費	-	10,000	
会議費	118,500	87,000	
外注費	2,222,099	30,000	通訳費等。次回沖・ハ海工ネWS(来年9月)は次年度のため減
事務用品費	102,036	154,000	
支払手数料	144,061	630,000	委託事業 謝金等 万国津梁人材育成事業が主
賃借料	130,900	-	バス増上費等。次回沖・ハ海工ネWS(来年9月)は次年度のため減
租税公課	2,000	2,000	
研究開発費	3,610,000	-	昨年度事業における配管布設・利用負担金
雑費	65,716	126,000	
事業経費計	16,170,413	10,027,000	
管理費用			
給与手当	12,000	12,000	
法定福利費	2,037	2,000	
福利厚生費	10,914	11,000	
旅費交通費	114,540	115,000	
広告宣伝費	1,080	1,000	
通信費	5,831	6,000	
事務用品費	53,351	50,000	
支払手数料	20,492	20,000	
租税公課	2,000	2,000	
雑費	3,240	3,000	
管理費用計	225,485	222,000	
積立金	△ 332,152	1,835,000	
経常費用計	16,063,746	12,084,000	